

各位

金蘭千里中学校

本校入学者選抜試験問題に関するお願い

昨今、教育現場における著作権の在り方が議論されています。本校も、著作権法に基づいた著作物の適切な運用と管理に取り組んでいます。

本校の入試問題の利用につきましても、下記の点にご留意いただき、適切なご利用をお願いいたします。

記

1. 本入試問題の著作権は、本校に帰属します。複製の作成は、事前に申告いただいた場合のみ許諾します。
2. 本入試問題で引用している文学作品等の第三者の著作物は、関係団体を通じて、引用の許諾申請を行っています。

以上

令和4年度中学入試

[前期A・E 入試]

国語科 問題

じこう 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2. この問題冊子は、表紙を含めて24ページあります。

試験中に、印刷がはっきりしなかったり、ページの乱れや抜け落ちに気づいたりした場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。

3. 解答用紙は別に配布されます。解答はすべてその解答用紙に記入しなさい。

4. 問題冊子の余白等は下書きなどに利用してよろしいが、どのページも切り離してはいけません。

[前期A・E 入試] 受験番号_____

金蘭千里中学校

①次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。問題に字数制限のあるものは、すべて句読点や記号も一字とする。

亜美の中学受験は無事に終わった。学力も「A」のところで周囲も心配していたが、本人のX樂觀と勉強への身の人らしさはそれで、塾に行く以外の勉強はほとんどしなかったと聞いている。

一月の練習代わりの受験にあっさり失敗し、両親と塾の先生たちを責めさせて東京受験の二月一日を迎へ、試験が終わつた昼頃に「いやー」と電話があった。「国語がいちばん出来なかつたよ」

塾講師をしていた私は何度もその科目を教えたことがあった。その時の感じでは、勉強ができるとはaおセジにも言えない。なははと笑つた声は明るく、こっちだつて何の責任も感じないけれど、少しは不安にならないでもない。

「まー大丈夫だつて！」とさつぱりした声。「たぶん、ぜつたい受かつてるからさ！」

何の根拠もない自信の通りに合格していたのだから大したものだ。お祝いの騒ぎが一段落した夜にまた電話がかかってきて、浮かれたbジガジサンをひとしきり聞いたところで「これでサッカーに集中できるな」と口を挟んだ。

「それがさー」と声は低きに急転回する。「おかーさんが特待狙つてあと三回？ 明日と明後日も受けろとか言うんだよ。せつかく合格したのにさー、ひどくない？」

「がんばつて特待に引っかかるたら、新しい（注1）トレシューでも買つてくれるんじやないか。そろそろ替えなきやつて言つてたろ」

「そつか！」弾む声は息のかかった音でざらついた。「交渉してみよーっと。ダメだつたらにーちゃんからも言つてくれなきや困るからね。そこで、明日は午前も午後もずっと試験だからダメだけど、明後日は午前だけだから、学校行くより早く帰れるみたい。だからさ、明後日さ」とそこで声がそっぽを向いた。「おかーさん明後日つてあたし何時に帰つて来れんのー！」二時か三時、お昼ごはん次第だという旨のがなり声が遠く聞こえる。「え、外で食べるの!? やつたー！」の（注2）快哉のあと、あそこの駅ビルの上の階のお店のオムライス、ほら学校見学の時も食べたヤツという会話を聞かされた末、ようやく「もしもーし」と声が戻ってきた。「三時には帰つて来れるらしいから付き合つてね！」

何に？練習に——と言う必要もないぐらいにはこの数年間、何度も何度も呼び出されてきた。いつ声をかけても「B」出て来るそこそこ球の蹴れる相手なんて、私——近くに住む小説家の叔父さんぐらいしかいないのだ。にーちゃんと呼ぶのは小さい頃からのならいで

ある。

所属する少年サッカーチームの子はそれほど近所に住んでいないし、男子に連絡して呼びつけるのも【※】が引けるだろう。亜美は言つてしまえばその弱小チームでただ一人の女子で、しかも一番上手かつた。それほど偏差値の高くない私立中だけを志望したのは、そこが女子サッカーの名門だからだ。

「それで頼み事があるんだけど……」改まったような芝居くさい小声になつた瞬間、自分で耐え切れずにあつさり戻る。「ばつちり合格したわけだし、聞いてくれるよねーもちろん」

内容によると言い終える前に「明後日言う！」とまつすぐな言葉が割り込んで、叩きつけるような「おやすみ！」と同時に電話も切られた。

互いの家は都県境の川を挟んだところにあって、いつも河川敷のグラウンドで待ち合わせる。本当は許可がいるのかもしれないが、平日の午後はたいてい誰もいないからゴールも勝手に使えた。

さつき買ってもらったばかりのトレーニングシューズを履いてきた亜美は、昨日、三段階ある特待制度のうち一番下の入学金免除だけを見事に勝ち取ったところだ。その夜は飛び跳ねて、最初に合格した時より喜んでいたという。

「ヒールに入つた赤がオシャレでしょ」足をひねつて爪先を立て、かかとを嬉しそうに見下ろす。「お店で一番高っかいの選んでやつただ。二十三センチだからちょっと大きいんだけど」

ミズノのモレリア、黒の定番モデルのベロなし。シンボルマークの白いランバードが文字通りサイドに走っている。

亜美はその真新しいシューズに時々目をやりながら、いつも通りの練習をこなした。最後はシューート練習とゴラッソが決まつていて。ペナルティエリアの外からやるんだと自分で言つて聞かないけれど、キーパーとして立つこちらも経験者だから女子小学生のシューートがそうそう入るわけがない。入る時は（注3）ゴラッソだ。大喜びしてそこで止めればいいものを、まだやるまだやると言つてまたきんざん入らず、いつも悔しさに顔をゆがめて練習を終ることになる。

「かかとの靴ずれがなー」途中からしきりに繰り返していた文句をまた言つて寝転がり、大きく息をしながら暮れかけの空を見上げてい

る。それで突然「あ」と顔を向ける。「すっかり忘れてた、頼み事」

唐突さに笑いながら促すと、亜美は体を起こしてあぐらをかいた。

「去年の夏に鹿島に合宿行つたじやん」

「そうだっけ？」

「言つてなかつたつけ、まいいや。そこで夜、あたしだけみんなと部屋がちがくつてさ。女子はおばさんたちと同じ部屋でとか言われちやつて、別にいーじやんケチつて感じなんだけど、しかもおばさんたち洗濯とか明日の準備とかしてて全つ然帰つて来ないし、めちやめちや暇になつちやつたのよ。で、階段のどこにちつちやい本棚あつたからチェックしたんだけどマンガとかぜーんぜん、『静かなるドン』つてゆーのしかないし。だから文庫本テキトーに一冊とつて部屋に戻つたの」

「珍しいな、本読むなんて」

「でしょ？」と指さしてくる。「しかもなんとなんと、それがめちやくちやおもしろかつたんだな！　あたしもちゃんと本読めるじやんつてちよつと感動しちやつてさー」

国語が苦手な亜美はほとんど本を読まない。私の本なんか当然読めるはずもなく、なぜかサインだけ頼まれたきりそのまま埃ほこりをかぶつている。

「で、その本、持つて帰つてきちやつたんだよね、こつそり」

微妙びみょうな顔で黙つているこちらを察して、「だつておもしろかつたんだもん、しょーがないじやん」とバツが悪そうに口をとがらせる。「でも大丈夫、今は机の引き出しにカギかけて隠してあるから。おかーさんにもおとーさんにも言えないもんね」

「大丈夫ではないだろ」

亜美は①ちよつと自嘲氣味に笑つて視線を川の方に逸らすと、ふと真面目な顔で「うん」と言つた。「だから、それを返しに行きたい」

数日後、亜美は、きれいさっぱり忘れていた合宿所の名前を「どーにかこーにか怪しまれないよーに」母親から聞き出してきた。スマホで調べて確認する。

「あ、ここ、ここ。裏にグラウンドがあつて、近くは工場だらけで、白い煙^{けなり}が出てて、風車がいっぱい見えるんだ」

鹿島臨海工業地帯の北の端^{はし}の辺りで、最寄り駅は鹿島神宮駅^{じんぐう}。その先の鹿島サッカースタジアム駅は、試合開催日だけの臨時駅となる。

私は、亜美の卒業式が終わつたら、鹿島アントラーズのホームゲームを一人で観に行くついでに本を返すという計画を立てた。鹿島は初めてだが、試合観戦のための一泊旅行ならこれまでに何度もしたことがあるから怪しまれもしないだろう。

「これだ！ 春休みの四月四日、アントラーズ対レイソル！」

具体的な日も決まつたところで、状況^{じょうきょう}が一変した。

臨時休校期間

・小学校

新型コロナウイルス感染拡大防止^{かんせん}のため、市立小中高等学校を臨時休校にいたします。三月二日現在の予定であり、今後変更^{へんこう}があつた場合は、ホームページなどでdシユウ^{d シュウ}いたします。

令和二年三月二日（月曜）午後から三月二十四日（火曜）まで
修了式^{しゅりょうしき}、卒業式については、三月二日現在、卒業生のみで実施^{じっし}する予定で検討しております。感染と鎮静化^{ちんせいか}の状況^{じょうけい}を考慮^{こうりょ}し、詳細^{じょううさい}が決定いたしましたお知らせいたします。

学校も所属するクラブの練習も最後の大会もなくなつて、我々は、毎日のように河川敷に集まつた。

「練習ぐらいしたつてよくない？ ほんと最悪、うるさいお母さんがいるんだって。ぜつたい野々山のお母さん」
ボールに空気を入れながら、言わんといつづぶやく。
「旅の計画もバーだしさー」

感染拡大で開催の有無^{うむ}が読めず、②我々の計画^{けいかく}も立ち消えになつた。真つ昼間から練習できるのは嬉しいことではあるが、楽しみがまと

めてなくなつたのはこたえたようだ。「家ではヨーロッパサッカーと、あとは夜におかーさんが帰ってきたら毎日『おジャ魔女どれみ』見るから一緒に見てる、今タダで見れるんだよ、おかげさんぼろぼろ泣くからおもしろいよ」という話をする間、準備体操にもとりかからず、あぐらをかいて届く範囲の冬の冷たい草をぶちぶち抜いていくものだから、湿り気のある黒土が、亜美の真後ろを除いてきれいに円く起こされた。立ち上がってそれを眺め、「視力検査みたい」と思いつきに歯を見せて、つまらなそうな全体の表情はひっくり返らない。

「あたし、めっちゃ目いいの、知ってる?」と言しながら、のろくさい屈伸は途中で止まつた。

これまで何度か試合を見に行つたが、それほど強くないチームの中で、亜美だけが気を吐く姿は痛快だった。相手チームの監督が途中からマークを増やして対応したり、閃きのあるドリブルやパスに相手チームの保護者たちから拍手が上がりたりする。特に、一度足元で軽くすくい上げてからインステップボレーで蹴るシュートやサイドエンジは、キック力のない亜美がよくするプレーで、Y苦肉の策とはいえ華麗に見えるから必ず歓声が上がつた。もちろん、相手が本当に強い時はほとんど何もできずにつぶされる。そのふてくされ寸前の顔を見るのも③また楽しみだつた。サッカーが一番だから休校をどう思つているか知らないが、とにかく小学生最後の試合がなくなるのは気の毒だ。

「しかも、どつこも行けないのに中学から宿題どばーつて送られてきてさ。まだ入学もしてないのにだよ? 算数と社会と理科はなんか冊子の問題集で、国語は日記帳」

算数じやなくて数学だ。「日記帳?」

「こーんな薄いけど」親指と人差し指を近づけて顔の前に出す。「意外と十ページもあるの。日記っていうか、本や映画の感想文でも、考えたことでも何でもかまいせんだけ。試合があつたら試合のこと書いたけど、試合ないもん」

いつもよりは(注4)天端の舗装路を歩く人が多く、小さな子供連れが目についた。それを見上げて(中略)『おジャ魔女どれみ』の歌を口ずさむ亜美的両親は共働きで、コロナウイルスの影響も今のところはいらっしゃく、普段通りに平日出勤している。④こんな状況では、「卒業の姪と来てゐる堤かな」という気分でもなかつた。

練習を始めるときには、「C」した動きになつたが、いつもの元気はない。放つたボールをインサイドボレーで返してくる亜美に私は言つた。

「試合はできないけど、合宿に行くか」

「え？」と声が出ながらも、胸元へ正確なボールが送られてきた。「どこに？」

利き足とは反対の左足へボールを投げる。「鹿島へ」

上へずれた強い返球をなんとか取ると、亜美はステップを止めて私を見ている。

「どうやつて？」

「歩いて」私はボールを足の甲に落として乗せたまま少し泳がせたが、落としそうになつて、亜美の方に掬い上げるように渡した。膝を折つて反らした胸に、ぴたりというわけではないがひとまず止めて、そのまま足下に落とす。「どのくらいかかる？」

「「D」しなかつたら四、五日ぐらいかな」

「泊まるの？」

「もちろん」

「合宿だつたらさ、練習もする？」

「利根川の堤防道をドリブルで歩く。ほとんど誰もいないし、好きな時に河川敷に下りればボールも蹴れる。eフヨウフキュウの外出でも、この辺で街をうろつくよりはよっぽど感染対策になるかもしれない」

大きく息を吸い込みながら見開かれていく目。

「練習しながら、宿題の日記を書きつつ、鹿島を目指す」

「行く！」拳手して叫んだ。

「そして最後に本を返す」

「⑤完ペキ！」

(乘代雄介『旅する練習』より
一部改めたところがある)

(注1)トレシュー……トレーニングシユーズ

(注2)快哉……ころよい、愉快だと思うこと

(注3)ゴラツソ……すばらしいゴールのこと

(注4)天端……ダムや堤防の一番高い部分

(一) 波線部 a ~ e のカタカナを漢字に直しなさい。

a (お) セジ b ジガジサン c ソウバ d シュウチ e フヨウフキュウ

(二) 「A」～「D」にあてはまる言葉として最も適切なものを次のア～カの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号をくり返し用いてはいけません。

ア きびきび イ ぎりぎり ウ くねくね エ のこのこ オ はきはき カ もたもた

(三) 傍線 X 「樂觀」・Y 「苦肉の策」とはどういう意味か、それぞれ最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

X 「樂觀」

ア 物事を都合のよいように考えること。

イ 物事をおもしろく考えること。

ウ 物事をいいかげんに考えること。

エ 物事をゆっくりと考えること。

Y 「苦肉の策」

ア なんとかその場をごまかすための方策。

イ 手ごわい相手を困らせるための方策。

ウ 苦労することを覚悟して行う方策。

エ 考えあぐねてやつとひねり出した方策。

(四) 本文中の【※】に入る漢字一字を答えなさい。

(五) 傍線部①「ちよつと自嘲氣味に笑つて視線を川の方に逸らすと、ふと眞面目な顔で「うん」と言つた」とあるが、このときの亜美

の気持ちとして最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 叔父の言葉を聞いて、つまらないことだから考えないようにしてきたが、あきらめてなんとかするしかないと思つていて。

イ 叔父の言葉を聞いて、それまでまったく抱いたことのなかつた罪の意識にさいなまれ、素直に認めるしかないと思つていて。

ウ 叔父の言葉を聞いて、情けないことをしてしまつたのだと改めて自覚し、きちんと対応しなければならないと思つていて。
エ 叔父の言葉を聞いて、自分が考えていたことを指摘してくれたと思いうれしかつたが、その喜びをおさえようと思つていて。

(六) 傍線部②「我々の計画」とあるが、どんな計画か。六十字以内で説明しなさい。

(七) 傍線部③「また楽しみだつた」とあるが、どういうことが楽しみだつたのか。適切なものを次のア～カの中から二つ選び、記号で答
えなさい。

ア 亜美がボールを足元ですくい上げるような難しいプレーをするのを見ること。

イ 亜美が強い相手チームと試合をしてほとんど何もできないのを見る。

ウ 亜美がキツク力がないのをはずかしがりながらプレーするのを見る。

エ 亜美が閃きのあるプレーをする相手に対しきびしくマークするのを見る。

オ 亜美が強い相手をして何もできず不満そうな顔をしているのを見る。

カ 亜美が弱くないチームで一人だけ意気込みあふれるプレーをするのを見る。

(八) 傍線部④「こんな状況では、「卒業の姪と来てゐる堤かな」という気分でもなかつた」とあるが、これについて次の(i)～(iii)に答えなさい。

- (i) 「卒業の姪と来てゐる堤かな」のような、五・七・五の十七字の形式で作られた短い詩をなんというか、漢字で答えなさい。
- (ii) 「卒業の姪と来てゐる堤かな」には季節を表す言葉が入っているが、その言葉を抜き出し、また、春夏秋冬のいつを表しているか、答えなさい。

(iii) 「卒業の姪と来てゐる堤かな」は元の形は「卒業の兄と来てゐる堤かな」で、作者の芝不器男（しばふきお）（一九〇三～一九三〇）が、学校を卒業する兄と堤にたたずみ、同じ時間を共有した時のこと表現しています。では、傍線部④「卒業の姪と来てゐる堤かな」という気分でもなかつた」はどういう気持ちだったことが表現されているのか。最も適切なもの次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 姉の生活が普段とは異なつたものになつてしまい、彼女の会話を楽しむようなおだやかな時間を過ごす余裕がないような気持ち。
- イ 試合がなくなつてしまつて姉はとても機嫌（きげん）が悪そなうなので、話しかけにくくてとりあえず一人でのんびりしてみたいような気持ち。
- ウ 両親が仕事のためにほとんど家にいないというさびしい状況で、叔父である自分などが話し相手となることに戸惑（とまど）うような気持ち。
- エ すぐにでもサッカーの練習をしたがっている様子から、座（すわ）つてゆつくりと話し合うことなどできないとためらわれるような気持ち。

(九) 傍線部⑤「完ペキ！」とあるが、このときの亜美はどのように思っているのか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア

つらいことの多いなか元気を出す方法が見つからなかつたが、利根川の堤防道を歩きながら練習し鹿島で合宿するといいい案を

思いつき、ほこらしく思つてゐる。

イ

好きなサッカーの試合がなくなつて練習もできなくなつていたが、街を出て利根川の堤防道や河川敷で好きな時に練習ができるそ

だと楽しみに思つてゐる。

ウ

コロナ禍のため何もできないと思つていたが、サッカーの練習を目的とした合宿をしながら感染対策もする方法を教えてくれたこ

とをありがたく思つてゐる。

エ

好きなことができなくなつてつまらなかつたが、叔父と一緒に旅をしながらサッカーの練習や宿題をし、本を返すことまでできる

のだとうれしく思つてゐる。

②次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。問題に字数制限のあるものは、すべて句読点や記号も一字とする。

2007年1月、大阪で「第5回フットボール（注1）カンファレンス」が開催されました。

メインテーマは、06年にドイツで開催されたワールドカップの分析と総括です。このカンファレンスで私は、「日本代表報告」をアラントウすることになりました。

私が壇上に立つ直前、ハツとするような話が耳に飛び込んできました。

ワールドカップの準決勝・イタリア対ドイツ戦――この大会で何試合か（注2）アシスタントレフェリーをハツめていた廣嶋禎数さんが、こんな話を始めました。

「イタリアの選手が退場させられて選手が1人減ってしまったその時、①イタリアの選手たちは、誰一人として、ベンチを見なかつた」

イタリア・チームは、状況からして非常に不利な局面を迎えていた。にもかかわらず、選手たちはベンチに指示を仰がなかつた。その場で話し合いをはじめ、10人でどのように試合を進めていくのかを即座に決め、お互いに指示を出し合い、発生した問題を解決していくた――というのです。

（注3）ピッチ上の選手が、「ベンチを見ない」。

そのことは、いったい何を示しているのでしょうか？ サッカーにとつて、どれくらい重要な意味があるのでしょうか？

イタリアのメンバーたちは、選手が1人欠けてしまったという場面に遭遇しても、自分たちで判断し難問を解決していく力を持っています。

そうした能力をしっかりと養ってきたからこそ、彼らはベンチに対し「指示を求めなかつた」のです。

つまり、「ベンチを見ない」ということは、ピッチ上で発生した出来事をどう処理していくのか、そのためには分析力と判断力を發揮して、決定する「力」を持っていたことの「証」でした。

究極の状況下で、自らが考えて判断を下す「自己決定力」。その力を備えていない限り、世界で通用するサッカー選手になることはでき

ない、という事実を明確に示している——そうした出来事だと、私には思えたのでした。

でははたして、日本の選手たちはどうでしょう？

日本のサッカーは、どれくらい「自己決定力」の大切さを意識してきたでしょうか？ そうした能力を養っていくための訓練をしてきたでしょうか？ 学校や家庭で、そうした能力を育む努力や工夫を、重ねてきたでしょうか？ 「自己決定力」を支える、論理力や表現力を学ぶシステムは、~~cがクリツ~~されているでしょうか？ それともそうしたことの大切さすら、まだ自覚されていないのでしょうか？

私は、日本の若い選手たちの育成にかかる中で、U-17(17歳以下)日本代表監督^{かんしょく}をツトめた時期がありました。そのとき、こんな場面にたびたび遭遇してきました。

練習のひとつに、②「ゲーム・フリーズ」という方法があります。

「ストップ！ いまのプレーを元に戻して、止まってみろ」

プレーを一時中断して、プレーの確認を要求します。

「そのバスはつながらなかつたけれど、どうしてそのつながらないバスを出したんだ？」

選手に聞きながら、ひとつひとつのプレーの意図を確認していきます。いつたんゲームの進行をフリーズ、すなわち止めることで、ひとつひとつのプレーの根拠^{こんきょ}をはつきりさせていくことを目的にしています。あるいは、ミスが出たときに、その原因や理由を点検します。

では、15～16歳の選手の場合、ゲームを止めると、次にどうすると思いますか？

黙^{だま}つて私の目を見る子どもが実際に多いのです。その表情は、私の言おうとしている答えを探し出そうとしているようにしか見えません。自分自身で答えを探すことよりも、私の解答を求める様子がありありと見えるのです。

日本人選手に多いこうした態度は、いつたいどこから生まれてくるのでしょうか？

もちろん、私の問いには、あらかじめ決められたひとつの正解があるわけではありません。「きみは、どういう意図でこのバスを出したのか？」さらに、「どういうふうにこの局面を乗り切りたかったのか？」と尋ねることで、本人の目的や意志や狙いを聞きたい、というのが私の気持ちなのです。

ところが、私が求めるような答えはなかなか返ってきません。ゲームがフリーズすると同時に、問い合わせられた選手までがフリーズしてしまいます。

ドイツに留学していたときのことです。

私は、12～13歳の子どもたちにサッカーを教えていました。そこでは、こんな風に練習が進んでいきました。

「クラウス、どうしてそこにパスしたんだ？」

私が、ゲームを止めて問いかけます。すると、

「だってペーターは足が速いんだから、そこに走るべきだから」

そんな答えが即座に返ってくるのです。

一方、ペーターはペーターで、「いや、オレはこっちにパスしてくれと言つただろ。ボールがきたら、ドリブルで仕掛けようと思つていたんだ」と主張します。

そうしたやりとりが、当然のようにおこなわれるのです。1人1人のプレーにそれぞれの狙いや意図があり、自分の意図を他者に伝えようと努力する。積極的に相手とことばを交わしていくとする姿勢を、ドイツの子どもたちに強く感じたのでした。

それではなぜ、日本の子どもたちは黙ってしまうのでしょうか？ 監督の目を見て、指示を待っているのでしょうか？ ドイツの子どもたちと、どこが違うのでしょうか？

ミスはミスでいいのです。ミスは、必ず起こることだし、減らしていくために確認し練習するものだからです。その時は、「いやあ、僕は本当はそこにパスを出したかったんだけれど、名前を呼ばれたからこっちに出したんです、だからミスになってしまったんですよ」というふうに。

そのようにミスの理由や原因を、ハッキリとことばで言つてくれればいいわけです。ところが、日本の子どもたちはこうした表現が苦手です。

ドイツと日本の練習風景を比べてみたとき、まずはつきりとした違いとして私の目に映ったのは、「自分の考えをことばにする表現力」でした。

たとえば日本の子どもたちに「きみがサッカーを好きな理由は?」という質問を投げかけたとしましょう。「何となく」「友達がやっていたから」「テレビで見たから」といった断片的なことばを、ぼつりと答えて終わらせてしまう子どもが、多いのではないでしようか。

「僕はドリブルで抜くのが気持ちいいから好きです」「私は友だちみんなと一緒にプレーできるから好きです」「走るのが好きなのでサッカーが好きです」と、論理的に筋道をたてて、理由を明快に示し、自分なりの考えを話すことができる子どもが、いつたいどれくらいいるでしようか。

「私はこう思います。その理由は……」と、筋道を追って考え、それを言語化し、表現するところから、論理的な思考は始まります。その中から、判断力や自己決定力も育つていきます。そうした判断を繰り返しおこなっていくことで、選手自身のサッカーの能力も高まるのです。

ところが日本人の場合には、③ふたつの問題が壁となつて立ちはだかっているように思われます。

ひとつは、自分が考へていることをことばに出して明快に表現するということが身についていない、ということです。

「ただなんとなく」「あいまいなまま」行動し、それで納得している。日常生活では、それで済ませてしまつてているケースもたくさんあることでしょう。しかし両親に対し、「べつに」とか「ビミョー」とかで受け答えしていること自体が問題なのです。何が「べつに」なのかということを家の中でも~~d~~ツイキ~~u~~していかなければなりません。そこを質していかなければ、子どもたちは自分の意志を他人に伝えることができなくなってしまうのです。いや、伝えることはおろか、意志を持つことさえできなくなり、やがてその状態で平気になつてしまふのです。

ましてやサッカーにおいては、なおさら論理的な思考が求められます。なぜならサッカーは、スピーディーなゲームの最中に究極の判断を求められるチームスポーツであり、刻々と変化していく局面に対してその都度、自分の考へを明確にし、それを相手に伝えていく必要性が生じるからです。こうした姿勢や対応能力は、日本人がこれまで最も苦手にしてきた領域だといえるでしょう。

もうひとつの問題は、「論理」を求められると、ひとつの正解だけを探し求めようとしてしまう点です。

先ほどの質問(サッカーが好きな理由)に対する、各人のいろいろな答えは、もちろんすべてが正解です。それぞれに違いがあつて当然なのです。ところが、いまの学校教育は、基本的にひとつの正解を求めるようなシステムになつていて、質問が出されると、その問題に対す

る正解を探そうという態度になりがちです。こうした傾向は、理数系ばかりか、国語科や社会科にも広がっているようです。

つまり、評価されるのは「答えが合っていたかどうか」だけなのです。

他人のいろいろな意見を聞いたり、別な考え方を知つたり、議論をしたりという機会がとても少ない。答えはひとつしかないと思いこんでいる。問い合わせを発した人の答えと違う答えを言つてはいけないのでないのではないか、と不安を持っている。間違つたことを言うのを恐れ、恥ずかしがる気持ちがとても強い。現在の教育システムの中に、そんな雰囲気を感じるのであります。答えはひとつしか許されないと、いう空気は、問題をさまざまな角度から論理的に考えていく豊かなプロセスを否定することにつながりはしないでしょうか？

私たちは、これまでに見たことのないような④創造的なプレーをする海外のサッカー選手に出会つたとき、大きな驚きと素晴らしい感動を感じてしまいます。そうした「クリエイティビティ（創造力）」をどうやって育てていくか、というなら、失敗を重ねながら育てていくしかないのだろうと思います。世界的にレベルが高くて強いヨーロッパの選手たちは、子どもの頃、それも相当eオサナい頃から、（注4）草サッカーをしてきたのではないでしようか。草サッカーのよいところは、どんな失敗でも許される、という点です。失敗をたくさん積み重ねていく中から、「なぜ失敗したのか」「その原因は何か」「どこを変えていけばよいのか」といったことを考えるに違いないのです。

クリエイティブな能力は、オサナい子どもの時にこそ、育つ。「答えはひとつとは限らない」という経験を、みんなでトライしなくてはいけません。「自分ならこうしたい」「私はああしたい」「あつ、これで失敗しちゃった」と、多くのさまざまな体験を通して学ぶ中から、クリエイティブな力が育ち、自己決定力が備わっていくのです。

（田嶋幸二『「言語技術』が日本のサッカーを変える』より　一部改めたところがある）

（注1）カンファレンス……会議

（注2）アシスタントレフエリー……審判の補佐

（注3）ピッチ……競技場

（注4）草サッカー……素人しろう人が集まって行うサッカー

(一) 波線部 a ~ e のカタカナを漢字に直しなさい。

a タントウ b ツト (めて) c カクリツ d ツイキユウ e オサナ (い)

(二) 傍線部① 「イタリアの選手たちは、誰だれ一人として、ベンチを見なかつた」とあるが、これはどのようなことを示しているか。その説明として、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア イタリアの選手たちは、世界で通用する力をもつてゐるが、この時ばかりは非常に不利な局面を迎えており、その解決法を考えるのに一刻を争う事態だつたということ。

イ イタリアの選手たちは、世界で通用する力をもつており、困難な場面に遭遇しても、それを自分たちで分析したり、判断したりして、解決法を決定したということ。

ウ イタリアの選手たちは、世界で通用する力を持つてゐるからこそ、退場になつた選手の心配をするよりも、自分たちだけで解決法を決めた方がよいと考えたということ。

エ イタリアの選手たちは、監督の様子を気にかけるよりも、世界で通用する力を持つてゐることを示すために、残つた者で何ができるかを前向きに考えたということ。

(三) 傍線部② 「『ゲーム・フリーズ』といふ方法」とあるが、これについて次の(i) (ii) に答えなさい。

(i) これはどのような練習か、六十字以内で説明しなさい。

(ii) この練習をドイツの子どもたちと日本の子どもたちにさせた場合、どのような態度の違いがあるか。七十字以内で説明しなさい。

(四) 傍線部③「ふたつの問題」とあるが、これについて次の（i）～（iii）に答えなさい。

(i) 「ふたつの問題」とは何か。それぞれ一文で文中から探し、本文に出てくる順番に、はじめの五字を抜き出しなさい。

(ii) (i) で答えた「一つめの問題」が起こる背景と、「二つめの問題」が起こる背景は、どのようなことか。その説明として、それぞれ適切なものを一つずつ次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 今の学校教育は、一つの正解を求めるようなシステムになつており、子どもたちが答えは一つだと思い込んでしまつていてのこと。
- イ 家庭内で子どもがあいまいな受け答えをした場合、きちんと表現するまで親が問いただしていること。
- ウ 他人のいろいろな意見を聞いたり、別な考え方を知つたり、議論をしたりする機会が増えていること。
- エ 日常生活において、なんとなくあいまいなまま発言や行動をし、それで納得してしまつていること。
- オ 日本にはヨーロッパでさかんな草サッカーというものがなく、子どもたちがサッカーに親しめる機会がほとんどないということ。

(iii) (i) で答えたことを、筆者はなぜ「問題」と言つてゐるのか。その理由として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア サッカーは失敗を積み重ねることで、創造力が養われるスポーツだから、クリエイティブなプレーを観客に見せることが必要なにもかかわらず、「ふたつの問題」は創造力を育むことを、さまたげているから。
- イ サッカーは失敗を積み重ねることで、創造力が養われるスポーツだから、常識にしばられず、ものごとを柔軟に考えることが必要なにもかかわらず、「ふたつの問題」は柔軟な思考を身につけることを、さまたげているから。
- ウ サッカーは素早く、臨機応変に、正確な判断が求められるチームスポーツだから、チームメイトと連携することが必要なにもかかわらず、「ふたつの問題」は、チームメイトと連携することを、さまたげているから。
- エ サッカーは素早く、臨機応変に、正確な判断が求められるチームスポーツだから、ものごとを論理的に考えることが必要なにもかかわらず、「ふたつの問題」は、論理的思考を身につけることを、さまたげているから。

(五) 傍線部④「創造的なプレー」とあるが、次の小学生四名のうち、将来これができそなのは誰か。会話を読み、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。ただし、筆者の意見に従つて考へること。

ア Aくん「おれは、とにかく毎日、チームの誰よりも遅くまで残つてシュート練習をがんばつてるんだ。もちろん、コーチの指示にも素直に従うようにしてる。こないだの練習試合でも、コーチの言う通りにプレーしたら、きれいなシュートが決まって嬉しかつたなあ。おかげで、来年からキヤブテンを任せてもらえることになったんだ！」

イ Bさん「それはよかつたわね！ 私は、お母さんにすすめられて一歳からサッカーをしているわ。でも、サッカーばかりじやバランスが悪いから、最近は学校の勉強もがんばつてる。そのために、塾も行き始めたの。特に暗記系の科目が得意ね！ 先生が教えてくれたことをまる覚えしたらいから、学校のテストも塾のテストも、今までずっと満点よ。」

ウ Cさん「すごいねー。あたしも、サッカーは二歳くらいからやつてて：あと、ピアノもそろばんもそれくらいからしてるなー。正直、Bさんみたいに常に完ぺきにできるものはないんだけど、まだ小学生だし、そんな気にしてない。それより、サッカーもピアノもそろばんも、先生とかメンバーと、『次はこうしたらうまくいくんじゃない？』って考えて、チャレンジするのが楽しいんだよな。ま、そうしたところで、また失敗したりするんだけど…」

エ Dくん「うんうん、分かるよ。ぼくも、サッカーも勉強もそこまで得意じやないから、よく失敗しちやつて：その度に、コーチやお母さんに怒られちやう。でも、やつぱりぼくは、『怒られないこと』じやなくて、『自分で考へること』が大切だと思うんだよな。だから、怒られたあとは、一人で『なんで失敗したのか』を、ひたすら考へてる。もちろん、コーチやお母さんには怖くて言えないけど、一人でじっくり考へると、次はうまくいきそな気がするし、成長を感じるんだ。」

③の問題は次のページに続きます。

(二) A社、B社、C社の配信サービスについて調べた翌日、太郎くんの学友の花子さんが「ゴールデンオーキッド2」のDVDを持っていることが分かり、無料で太郎くんに貸すと申し出してくれました。これにより太郎くんは「ゴールデンオーキッド2」を動画配信サービスで見る必要がなくなりました。これをふまえて「ゴールデンオーキッド」シリーズの残り全ての過去作品を一番安く見ることができるのは、A社、B社、C社のどれか。またその際にかかる月額料金と追加料金の合計はいくらか。

(三) さらに翌日、太郎くんのお兄さんが「近所の中古専門DVDショップ攝津屋でゴールデンオーキッドの過去作品のDVDが売っていたよ。」と言ってちらし(資料Ⅲ)をくれました。この時点で、太郎くんが「ゴールデンオーキッド」の全ての過去作品を一番安く見るためにはどのような行動を取るべきか。最も適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

資料Ⅲ

～中古DVDショップ 摄津屋通信～

★「ゴールデンオーキッド」最新作公開記念特別セール！

「ゴールデンオーキッド」シリーズの過去作品DVDを全て1枚600円(税込)で販売！

★当店限定セール★

「ゴールデンオーキッド」シリーズ過去作品DVD全4作セットを1900円(税込)で販売！

★「ゴールデンオーキッド」シリーズの過去作品販売強化中！

おうちに眠っているDVDをぜひお売りください！詳しくは当店のHPをご覧ください！

※これらの商品はいずれも中古の商品になります。

※18才以下のお客様からの販売には保護者の同意が必要です。

※当店でご購入いただいた商品の販売は原則お断りしております。

- ア A社の配信サービスに加入し、「ゴールデンオーキッド」の3と4を見るために追加料金を払う。
- イ B社の配信サービスに加入し、「ゴールデンオーキッド」の3と4を見るために追加料金を払う。
- ウ C社の配信サービスに加入し、攝津屋で「ゴールデンオーキッド」の1と3と4のDVDを買う。
- エ どの配信サービスにも加入せず、攝津屋で「ゴールデンオーキッド」のDVDセットを買う。
- オ どの配信サービスにも加入せず、攝津屋で「ゴールデンオーキッド」の1と3と4のDVDを買う。

③次の文章と資料Ⅰ、Ⅱ、Ⅲをそれぞれ読んで、後の問い合わせに答えなさい。

なお、金額を答える際は、解答用紙に、算用数字を使って、横書きで書くこと。

人気映画シリーズ「ゴールデンオーキッド」第5作目にあたる最新作「ゴールデンオーキッド5」が2022年2月に公開されることになりました。これを受け過去の「ゴールデンオーキッド」シリーズの映画を全て見たいと思った大学1年生の太郎くん(18歳)は、定額動画配信サービスへの加入を検討し、調べてみたところ、A社、B社、C社の3つの配信サービス会社が候補にあがりました。

資料Ⅰ

会社名	価格(税込)	サービス内容
動画配信サービスA社	月額1600円	約10万作品が無料で見ることができます。 ※有料作品を見るためには月額料金とは別に追加料金がかかります。
動画配信サービスB社	月額1400円	約5万作品が無料で見ることができます。 ※有料作品を見るためには月額料金とは別に追加料金がかかります。
動画配信サービスC社	月額800円	約2万作品が無料で見ることができます。 ※有料作品を見るためには月額料金とは別に追加料金がかかります。

資料Ⅱ

会社名	「ゴールデンオーキッド」シリーズ過去作品の取り扱いと追加料金
動画配信サービスA社	「ゴールデンオーキッド1」(1999年公開)…無料 「ゴールデンオーキッド2」(2002年公開)…有料(100円) 「ゴールデンオーキッド3」(2008年公開)…有料(100円) 「ゴールデンオーキッド4」(2016年公開)…有料(200円)
動画配信サービスB社	「ゴールデンオーキッド1」(1999年公開)…無料 「ゴールデンオーキッド2」(2002年公開)…有料(200円) 「ゴールデンオーキッド3」(2008年公開)…有料(300円) 「ゴールデンオーキッド4」(2016年公開)…有料(300円)
動画配信サービスC社	「ゴールデンオーキッド1」(1999年公開)…有料(300円) 「ゴールデンオーキッド2」(2002年公開)…有料(300円) 「ゴールデンオーキッド3」(2008年公開)…有料(300円) 「ゴールデンオーキッド4」(2016年公開)…有料(400円)

(一) A社、B社、C社の配信サービスに加入し、「ゴールデンオーキッド」シリーズの過去作品を全て見るには、それぞれいくらかかるか。月額料金と過去作品を見るのにかかる追加料金を合計した金額を答えなさい。

なお、太郎くんは1か月以内に全ての過去作品を見る予定のため、月額料金が2か月以上分かかることはないものとする。

(三)	(一)
	A社 円
	B社 円
	C社 円
	(二)
	<input type="checkbox"/> 社 円

得点	
受験番号	

(3)

(五)	(四)	(三)		(二)	(一)
	ii i	ii	i		a
	一つめの背景	一つめ			b めて
	二つめの背景	二つめ			c
	iii			d	e い

(2)

(九)	(八)	(七)	(六)	(三)	(二)	(一)
	i			X A	d a お	
				Y B	e b	
	ii			(四) C	D	
		季節		(五)		c
	iii					

(1)

令和四年 中入 国語 「前期A・E」【解答】(120点満点)

(1) (50点)

- (一) a (お) 世辞 b 自画自賛 c 相場 d 周知 e 不要不急

(二) A イ B エ C ア D カ

(三) X ア Y エ

(四) 気

(五) ウ

(六) 鹿島アントラーズのホームゲームを二人で観に行くついでに、

去年合宿所からこつそり持ち帰った本を返すという計画。(54字)

(七) 才・カ

(八) (i) 俳句

(ii) 卒業・春

(iii) ア

(九) エ

(2) (50点)

- (一) a 担当 b 務 (めて) c 確立 d 追求 (追求・追及) e 幼 (い)

(二) イ

(iii) (i) 選手に聞くことで、プレーの根拠をはつきりさせたり、ミスの原因を点検したりするために、

(ii) 日本の選手は一つの答えを求めるように黙って監督の目を見るだけだが、ドイツの子どもたちは自分の意図をことばで他者に伝えようとする、という違い。(70字)

(四) (i) 一つめ..ひとつは、

二つめ..もうひとつ

(ii) 一つめの背景..エ

二つめの背景..ア

(iii) エ

(五) ウ

(3) (20点)

(一) A 社 2000円 B 社 2200円 C 社 2100円

(二) C 社 1800円

(三) オ

③ ④
× 2
③ ③
× 3

⑤ ⑥ ⑦ ⑧
(完答)

⑩ ⑩ ⑩
② × 5

③
(完答)

④ ④ ② ②
× 2 × 2
② × 2
④ (完答)